

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年1月10日(2024.1.10)

【公開番号】特開2023-51837(P2023-51837A)

【公開日】令和5年4月11日(2023.4.11)

【年通号数】公開公報(特許)2023-067

【出願番号】特願2022-154811(P2022-154811)

【国際特許分類】

C 07 C 69/90(2006.01)

10

G 03 F 7/039(2006.01)

G 03 F 7/004(2006.01)

C 08 F 220/22(2006.01)

C 08 F 220/10(2006.01)

C 08 F 212/14(2006.01)

G 03 F 7/20(2006.01)

【F I】

C 07 C 69/90 C S P

G 03 F 7/039 6 0 1

20

G 03 F 7/004 5 0 1

C 08 F 220/22

C 08 F 220/10

C 08 F 212/14

G 03 F 7/20 5 2 1

G 03 F 7/20 5 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】令和5年12月25日(2023.12.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

30

【訂正対象項目名】請求項4

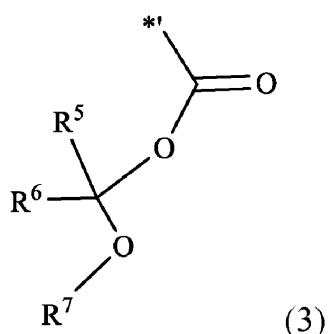
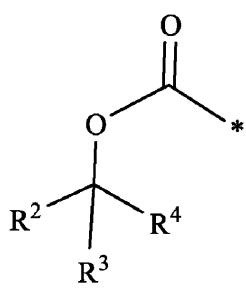
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項4】

R¹が式(2)又は(3)：

【化2】



(式(2)及び(3)において、

R²～R⁴は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換C₁～₂₀アルキル、置換若しくは無置換C₃～₂₀シクロアルキル、置換若しくは無置換C₃～₂₀ヘテロシクロ

50

アルキル、置換若しくは無置換 C₂～C₂₀ アルケニル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ シクロアルケニル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ ヘテロシクロアルケニル、置換若しくは無置換 C₆～C₂₀ アリール、又は置換若しくは無置換 C₂～C₂₀ ヘテロアリールであり、各 R²～R⁴ は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよいが、ただし、R²～R⁴ から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び

R²～R⁴ のうちの 1 つが水素である場合には、R²～R⁴ の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換 C₆～C₂₀ アリール又は置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ ヘテロアリールであることを条件とし；

R²～R⁴ のうちのいずれか 2 つは、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

R⁵ 及び R⁶ は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C₁～C₂₀ アルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ シクロアルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換 C₆～C₂₀ アリール、又は置換若しくは無置換 C₂～C₂₀ ヘテロアリールであり；各 R⁵ 及び R⁶ は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよく；

R⁵ 及び R⁶ は、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

R⁷ は、置換若しくは無置換 C₁～C₂₀ アルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ シクロアルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₂₀ ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換 C₆～C₂₀ アリール、又は置換若しくは無置換 C₂～C₂₀ ヘテロアリールであり、R⁷ は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよく；

R⁵ と R⁶ のうちのいずれか 1 つ以上は、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して R⁷ と一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

* 及び *' は、それぞれ L² への結合部位を表す)

のうちの 1 つで表される、請求項 3 に記載の化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5】

n が 1 又は 2 であり；

X が（メタ）アクリル又は置換若しくは無置換 C₂～C₁₂ アルケニルであり；

L¹ が単結合であり；

L² が、単結合であるか、-C(O)OC(X¹X²)- であり、X¹ 及び X² は、それぞれ独立して、水素、フッ素、無置換 C₁～C₆ アルキル、C₁～C₆ フルオロアルキル、無置換 C₃～C₆ シクロアルキル、又は C₃～C₆ フルオロシクロアルキルであり；

A_r¹ が、置換若しくは無置換 C₁～C₁₀ アルキル、置換若しくは無置換 C₁～C₁₀ ヘテロアルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₁₀ シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C₃～C₁₀ ヘテロシクロアルキルのうちの 1 つ以上で任意選択的に更に置換されていてもよい C₆～C₁₀ アリールであり；

R²～R⁴ が、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C₁～C₁₀ アルキル、置換若しくは無置換 C₃～C₈ シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C₆～C₁₄ アリールであるが、ただし、R²～R⁴ から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び

R²～R⁴ のうちの 1 つが水素である場合には、R²～R⁴ のうちの他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換 C₆～C₁₄ アリールであることを条件とし；

R²～R⁴ のうちのいずれか 2 つが、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

R⁵ 及び R⁶ が、それぞれ独立して、水素、又は置換若しくは無置換 C₁～C₁₀ アルキルであり；

10

20

30

40

50

R^7 が、置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-8} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{6-14} アリールである；

請求項 4 に記載の化合物。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

式(2)において、 $R^2 \sim R^4$ は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C_{1-20} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-20} シクロアルキル、置換若しくは無置換 C_{3-20} ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換 C_{2-20} アルケニル、置換若しくは無置換 C_{3-20} シクロアルケニル、置換若しくは無置換 C_{3-20} ヘテロシクロアルケニル、置換若しくは無置換 C_{6-20} アリール、又は置換若しくは無置換 C_{2-20} ヘテロアリールであるが、ただし、 $R^2 \sim R^4$ から選択される 2 つ以上が水素であることはなく、及び $R^2 \sim R^4$ のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$ の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換 C_{6-20} アリール又は置換若しくは無置換 C_{3-20} ヘテロアリールであることを条件とする。各 $R^2 \sim R^4$ は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよい。例えば、各 $R^2 \sim R^4$ は、その構造の一部として $-O-$ 、 $-C(O)-$ 、 $-C(O)O-$ 、 $-S-$ 、 $-S(O)2-$ 、 $-N(R^{2a})-$ 、又は $-C(O)N(R^{2b})-$ から選択される 1 つ以上の基を更に含んでいてもよく、 R^{2a} 及び R^{2b} は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C_{1-20} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-20} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{3-20} ヘテロシクロアルキルである。典型的には、 $R^2 \sim R^4$ は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-8} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{6-14} アリールである。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

1 つ以上の実施形態では、式(1)、(2)、及び(3)において、 n は 1 又は 2 であり； X は(メタ)アクリル又は置換若しくは無置換 C_{2-12} アルケニルであり； L^1 は単結合であり； L^2 は単結合又は $-C(O)OC(X^1X^2)-$ であり、 X^1 及び X^2 は、それぞれ独立して水素、フッ素、無置換 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} フルオロアルキル、無置換 C_{3-6} シクロアルキル、又は C_{3-6} フルオロシクロアルキルであり、典型的には、 X^1 及び X^2 は水素であり； Ar^1 は、置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキル、置換若しくは無置換 C_{1-10} ヘテロアルキル、置換若しくは無置換 C_{3-10} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{3-10} ヘテロシクロアルキルのうちの 1 つ以上で任意選択的に更に置換されていてもよい C_{6-10} アリールである。この実施形態では、 $R^2 \sim R^4$ は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-8} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{6-14} アリールであるが、ただし、 $R^2 \sim R^4$ から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び $R^2 \sim R^4$ のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$ の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換 C_{6-14} アリールであることを条件とし； $R^2 \sim R^4$ のうちのいずれか 2 つは、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、この環は置換されているか無置換であり； R^5 及び R^6 は、それぞれ独立して、水素又は置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキルであり； R^7 は、置換若しくは無置換 C_{1-10} アルキル、置換若しくは無置換 C_{3-8} シクロアルキル、又は置換若しくは無置換 C_{6-14} ア

10

20

30

40

50

リールである。

10

20

30

40

50